

コロナウイルス文献情報とコメント(拡散自由)

2021年9月11日

二つの質問で重いストレスの瀬戸際にあるケアスタッフを見つけ出すことができる: 新型コロナ下のメンタルヘルスケア

【松崎雑感】

「この1週間に、パニックになったり、感情のコントロールができなくなりそうなことがありましたか?」、あるいは、「この1週間に、将来に全く望みがな
いと感じたことがありましたか?」にイエスと答えた場合、メンタルヘルスケアが必要というロンドンカレッジからの研究報告です。オンライン調査と面接調査では、同じ答えが出るかどうかはわかりませんが、もし、本音を訊くことができるなら、有用な質問事項となります。ざっくばらんに、メンタルステートを話し合える関係が必要です。

二つの質問で重いストレスの瀬戸際にあるケアスタッフを見つけ出すことができる：新型コロナ下のメンタルヘルスケア

Brewin CR (Division of Psychology and Language Sciences, University College London), Bloomfield MAP, Billings J, Harju-Seppänen J, Greene T. **What symptoms best predict severe distress in an online survey of UK health and social care staff facing COVID-19: development of the two-item Tipping Point Index.** *BMJ Open*. 2021 Aug 27;11(8):e047345. doi: 10.1136/bmjopen-2020-047345. PMID: 34452960.

目的

新型コロナパンデミックは、不安とうつ状態の発現閾値の変化をもたらしている。簡単な質問で、著明な不安やうつ状態の瀬戸際にある人々を見つけ出すことができたなら、メンタルケア上有用である。

方法

イギリス全体の医療とソーシャルケア施設をカバーしたオンライン断面調査であるFrontline-COVID Studyの一環としてデータが採取された。ストレスに持ちこたえられなくなる瀬戸際にある人々を見つけ出すための新たな質問項目の感知力を従来の不安とうつ状態評価方法と比較した。2020年5月27日から7月23日に調査が行われた。

調査参加者は病院スタッフ53%、ナーシングホームスタッフ15%、コミュニティスタッフ30%。1038名が6項目の瀬戸際状態発見問診項目に回答した。

職種は看護師、助産師、医師、ケアワーカー、ヘルスケアアシスタント、ヘルスケア専門家、ヘルスケア以外の分野スタッフ。

不安とうつ状態の重症度はGeneralised Anxiety Disorder Scale-7 あるいはPatient Health Questionnaire-9により評価した。

結果

「この1週間に、パニックになったり、感情のコントロールができなくなりそうなことがありましたか？」と「この1週間に、将来に全く望みがないと感じたことがありましたか？」という二つの質問のどちらかにイエスと回答した場合、感度95%、陰性的中率97%で、二つの質問の両方にイエスと回答した場合、感度90%、陽性的中率72%で不安とうつ状態でダウンする瀬戸際にある事を予測できた。

別のランダムサンプルについて同様の解析を行った結果、性、エスニシティ、ヘルスケア、ソーシャルケアの別なく瀬戸際ストレスの検出が可能となっていた。

結論

この二つの質問によって、簡単かつ迅速に大きなストレスの瀬戸際にある人々に対する治療的介入を行うことができる。